

■工学プロジェクト(学内企業実習)

工学プロジェクトは、産学連携による実践型カリキュラムの1つです。通常のインターンシップと違い、企業人が大学に出向き、学生が1日社員としてグループワークを行う科目で、企業から与えられた課題をグループで解決し、就業するために必要な能力を身に付けることを目的とします。

今年は、1年生59人、2年生12人、3年生7人、4年生14人、計92人が取り組みました。

◆実習前指導

6/14, 7/12, 7/26

実習前指導では創成活動の基礎を学ぶと共に、グループワークにおいて、挑戦・創造・コミュニケーションの経験を積みました。

今年度の実習前指導の課題は、「柏崎の名産品をお客様へ！」です。



初対面でもだんだんと慣れてきます



ポストイットでアイデアを出していきます



ここで気を付けることは...



2日目は調べてきたことを持ち寄って...



元企業人の先生からの助言



企画はまとめ段階に入ります



プレゼンのためにポスターを貼ります



発表開始です



質問に答えています

◆学内企業実習

9/7

参加した企業は、4社で、各社異なるテーマで実施しました。学生は、各社5チームに分かれて課題に取り組み、成果発表を行いました。

【株式会社越後みそ西】味噌蔵が飲食店を出店するなら。

【株式会社大原鉄工所】バイオガス発電機の海外展開への企画立案。

【株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟】暮らしを支える高速道路について。

【北越工業株式会社】エコロジカルパーク100年の森づくり、工場緑化のあるべき姿をまとめる。



「越後みそ西」チームの学生がバスに乗り込み



みそ蔵の見学です



おみそ汁いただきました。
(みその種類で色が違います)



企業の先生からアドバイス



iPadは強力なツール



真剣に聞いています



プレゼンポスターの作成開始



いよいよ発表本番



他グループの発表を聞いてジャッジします



企業の先生からの質問



各企業の優秀グループによる全体発表です



各社1つの優秀グループが発表です

◆事後指導

9/27

「学内企業実習の活動でよかったこと」「学内企業実習で発表した内容で足りなかったもの」「学内企業実習で発表した内容をもっとよくするには、どうすればよかったか」についてグループ内で意見交換を行いました。

◆そして一言(吉田 宏二 准教授/工学プロジェクト運営コアメンバー)



「工学プロジェクト」では、将来、企業で活躍するための能力の向上を目指しています。そこで、実際に企業の方を講師としてお招きし、企業活動の中から課題を設定していただき、その実践的な課題に学生がグループワークとして取り組んでいます。実習の最後には成果発表会も実施しています。グループ内では役割分担を行い、全員が協力して一つの課題をクリアすることにより、コミュニケーション力や問題解決力の底上げを、また成果発表によりプレゼンテーション力の底上げを図っています。ただし、一度きりの履修では、企業が求める高いレベルへの到達は、到底かないません。課題解決では採算性や論理的な裏付けが、発表では相手に伝え理解を引き出す力が求められます。幸い、この実習は学年毎に履修ができるよう開講されています。在学生は自己啓発のため、毎年履修することを期待しています。